

令和5年度 第2回東京都保険者協議会データ分析部会 会議要旨

委員定数 11名

1 開催日時 令和5年10月31日（火） 14時27分～16時19分

2 開催会場 Web会議形式にて開催（AP西新宿4階1ルーム）

3 出席者	【9名】	東京都担当部署	1名
		全国健康保険協会東京支部代表	2名
		健康保険組合代表	3名
		国民健康保険の区市町村代表	1名
		共済組合代表	1名
		国民健康保険組合代表	1名

4 会議次第

○開 会

○議 題

- (1) 令和5年度 データ分析に関する研修会について【報告】
- (2) 令和6年度 データ分析に関する研修会について【協議】
- (3) 特定健診データを活用した被保険者の健康状態等の分析について【協議】
- (4) 「都内医療保険者におけるデータヘルス計画に基づく取組状況調査」の結果について【報告】
- (5) 健康スコアリングレポートの活用方法について【協議】
- (6) 日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025（宣言2）」の達成状況について【報告】
- (7) 保険者の取組事例の構造化について【報告】
- (8) その他

○閉 会

5 会議要旨

議題 (1) 令和5年度 データ分析に関する研修会について【報告】

(事務局)

【資料1】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

質疑応答について、質問者以外も閲覧可能か。

(事務局)

可能である。質問の有無については、ホームページ上で案内する。

(部会長)

他に質問、意見等はあるか。

(特になし)

議題 (2) 令和6年度 データ分析に関する研修会について【協議】

(事務局)

【資料2】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部会長)

聴講時間を見る側が選択でき臨機応変に対応できる点、繰り返し複視できる点が良いと思う。また、講師とのやり取りという部分についても、質疑応答を書面でできるということと、それが全体で共有できるということであるので、対面でなくても、動画配信形式での開催は非常にいいのではないかと思う。

(部会長)

他に質問、意見等はあるか。

(特になし)

事務局は、本内容で次年度の準備を進めていただきたい。

議題 (3) 特定健診データを活用した被保険者の健康状態等の分析について【協議】

(事務局)

【資料3-1から3-6】を用いて説明

(部会長)

追加収集いただいた委員から、データの傾向等報告いただきたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

【資料3-2、3-5】を用いて説明

(健康保険組合を代表する委員)

【資料3-5】を用いて説明

(健康保険組合を代表する委員)

【資料3-5】を用いて説明

(事務局)

本日いただいたご意見等を有識者に共有させていただき、また改めてお知らせできることがあれば、今後の部会等で共有させていただきたい。

(部会長)

それでは協議に移る。

1点目、昨年度同様、保険者名を伏せた状態で資料を公開することに意見等はあるか。

(特になし)

事務局は、本内容で掲載の準備を進めていただきたい。

2点目、来年度の取組について、委員の負担を軽減したうえでできる取組等ご提案いただけることはあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

データ提供に関して、負担になる部分はあるが、結果を持ち寄り各保険者と比較することは非常に大事な部分だと思うので、今後もこうしたデータを持ち寄り、保険者間の比較をしていくことは重要だと考える。

また、今後、具体的にどういうデータを収集していくかというところは分かりかねるが、やはり生活習慣が健診結果に及ぼす影響については引き続き見ていく必要があると思う。

(健康保険組合を代表する委員)

分析していてよく思うのが、保険者によって加入者の特性があるため、健康課題や疾病にも随分特徴が出てくる。そういった属性などまで含めて解析することはもちろん必要だと思し、他保険者のデータと比較をすると、ある程度自保険者のデータも俯瞰して見られるようになり、新たな健康課題等も見えてくると思うと、データを持ち寄ることは重要だと思ふ。

(健康保険組合を代表する委員)

多少の負担はあるが、お役に立てればということで、今後可能な限り協力したいと思う。また、今後の内容等については、具体的な知恵はないが、やるからには少し継続して取り組んでみて、トレンドや何かを把握することが必要だと思う。1回だけやって、あまり参考にならないからやめようとかいうのではなく、具体的なやり方等についてはプロの専門家の方の意見を聞きながら進めていく方法もあるかなと思う。

(部会長)

当初、この取り組みを始めたきっかけとして、コロナ禍の生活環境の変化による健康状態への影響について健診データ等を見ていたが、皆さんのご意見も踏まえ、ウイズコロナという状況下となった現在の生活や健康状態についても見ていき、引き続き本取組みを進めていきたい。可能な限りデータ収集が負担にならないよう、データ分析部会として、健診データを使いながら進める方向としたい。

議題 (4) 「都内医療保険者におけるデータヘルス計画に基づく取組状況調査」の結果について【報告】

(事務局)

【資料4】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

(東京都担当部署を代表する副部会長)

この資料は、令和5年度第2回東京都医療費適正化計画検討委員会で共有させていただいた。

医療費適正化を進めるに当たって健診や保健指導による健康増進が非常に重要で、また、

実施率向上だけでなくその先にある被保険者の行動変容や必要な医療につなげていくことが重要だということを、検討委員会の複数の委員からご意見いただいた。

今回の調査で、それぞれ保険者の状況は異なるが、健診や保健指導の受診勧奨など様々な工夫をされているということがよく分かり、計画改定にあたって非常に参考になった。各保険者において、本部会で取り組んでいる特定健診データを用いた分析や構造化事業も含めて、有用なデータとして活用できるのではないかと感じた。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副部長)

資料4の18ページ「医療費適正化に向けた取組」について2点質問したい。

1点目は、回答保険者の9割が医療費通知の送付を行っているというデータが出ているが、昨今、マイナンバーカードの普及が進み、マイナポータルでの医療費が確認できるというサービスができているため、郵送でなくマイナポータルでの確認のご案内等、医療費通知の方法の変更を考えている保険者はあるか。

2点目は、重複・多剤服薬者に対する保健指導について。この取り組みは、医療費通知送付よりも取り組んでいる保険者が少ないが、想像よりも多くの保険者で取り組んでいると感じた。被用者保険で見ると約6分の1の保険者で取り組んでいるという結果。具体的なアプローチ方法についての情報があれば共有いただきたい。

(部会長)

当健康保険組合においては、まず、医療費通知について、現時点でいつからマイナポータル等の活用にするという具体的な判断はしていない。今後そういう方向性にするとも考えている段階であるが、マイナ保険証の本稼働とは至っていないというところもあることも勘案して進めていくと思う。

2点目の、重複・頻回受診について、当健康保険組合で取り組んでいる。ただ、重複、頻回と判断する回数の定義について意見が出ている。

他、質問や意見はあるか。

(特になし)

議題 (5) 健康スコアリングレポートの活用方法について【協議】

(事務局)

資料4の17ページ、被用者保険の事業主と連携した取組の中で7割以上の保険者で取り組んでいると回答のあった、健康スコアリングレポート等を用いた健康課題の共有や保健事業に関する情報提供について、加入者や規模など保険者の特徴によって健康スコアリング

レポートの活用方法について異なるのではないかと思います、被用者保険の保険者の皆様がどういった形で活用されているかというところを情報共有いただきたい。

(全国健康保険協会東京支部を代表する委員)

事業所カルテという名称で活用しており、毎年、事業所に対してカルテを送付し、医療費や健診結果を通して、事業所の健康づくりの取組効果を確認いただいている。

また健康企業宣言の勧奨、生活習慣予防健診の利用、特定保健指導の利用などについて、事業所を当職員が訪問の上、推進をしている。訪問した際に事業所カルテを提供して、事業所の状況を説明した上で健康企業宣言の勧奨をしている。

今年度は、こうした事業所とのコラボ強化を図っており、訪問の件数を増やしている。

(部会長)

事業所別スコアリングレポートが、今度3年目になるが、健康経営への注目もあり、健康企業宣言を考えている事業所では健康課題や自事業所の状況が把握できるため活用いただいている。

今後は、このレポートを使って、さらに男女別や年齢別、課題やリスクを分析して、事業所にフィードバックしていくような取組を検討している。

(健康保険組合を代表する委員)

当健康保険組合では、スコアリングレポートができる前の2015年から健康情報ブックという独自に作成したレポートを利用している。こちらは40歳以上の加入者が200名以上で、被保険者が300名以上の事業所、約80事業所を対象にレポートを作っており、それをコラボヘルス等の際に活用している。また、該当しない少し小規模な事業所については、スコアリングレポートを活用しており、事業所の規模によって使い分けている。

(健康保険組合を代表する委員)

当健保組合で、事業所別スコアリングレポートの対象となる被保険者50名以上の事業所は68事業所ある。

健保全体のスコアリングレポート及び事業所別のスコアリングレポートを、各会社の事業所のトップや総務部長宛てに送付をしている。さらに、関心を持ってもらうために、便宜的に点数化し、各事業所別に点数を集計して順番をつけ、各事業主に、68事業所中の何位などと個別に通知するなど工夫をした。

(共済組合を代表する委員)

健康スコアリングレポートについては、当共済組合全体のものとなっていることから、支部としてではなく、本部が活用しているものと承知している。特定健診や特定保健指導に関する各種事業等に引き続き取り組んでいきたい。

(部会長)

他に質問、意見等はあるか。

(特になし)

議題 (6) 日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025 (宣言2)」の達成状況について【報告】

(事務局)

【資料5】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

(特になし。)

議題 (7) 保険者の取組事例の構造化について【報告】

(事務局)

【資料6】を用いて説明

(部会長)

質問、意見等はあるか。

(特になし。)

最後に、質問、意見等はあるか。

(特になし)

以上で本日の議事は全て終了とする。

閉 会